



平成24年 5 月31日

各 位

会 社 名 株式会社東理ホールディングス
(コード番号 5856 東証第2部)
代表者名 代表取締役社長 永井 鑑
問合せ先 代表取締役副社長 忍田 登南
(TEL. 03-3548-1014)

特別損失等の計上及び業績予想との差異等に関するお知らせ

平成24年 2 月13日付「特別損失の計上及び業績予想の修正等に関するお知らせ」にて開示いたしました、平成24年 3 月期通期の連結及び個別業績予想の数値と比較して、本日公表の決算において、特別損失等の計上により、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上 (第 4 四半期)

(1) 連結及び個別業績に反映されるもの

- ・一時的費用 (社内調査委員会等に関わる費用) …37 百万円

(2) 連結業績のみに反映されるもの

- ①子会社の減損損失…497 百万円 (株東京理化工業所 328 百万円、株ボン・サンテ 168 百万円)
- ②子会社の貸倒引当金…34 百万円 (株なごみ設計 34 百万円)
- ③子会社の震災復旧費用…27 百万円 (株東京理化工業所 27 百万円)
- ④子会社の退店費用…16 百万円 (株ボン・サンテ 16 百万円)

(3) 個別業績のみに反映されるもの

- ・子会社株式評価損…833 百万円 (株東京理化工業所 780 百万円、株ボン・サンテ 53 百万円)

2. 連結業績数値の差異等

平成24年 3 月期通期業績数値の差異 (平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日) (金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,629	164	198	69	0 円 75 銭
今回実績 (B)	21,658	△43	10	△654	△7 円 03 銭
増減額 (B-A)	29	△207	△188	△723	—
増減率 (%)	0.1	—	△94.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	21,861	△ 244	△ 758	△ 2,356	△25 円 32 銭

3. 個別業績数値の差異等

平成23年 3 月期通期業績数値の差異 (平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日) (金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	513	46	116	83	0 円 90 銭
今回実績 (B)	515	61	371	△483	△5 円 20 銭
増減額 (B-A)	2	15	255	△400	—
増減率 (%)	0.3	32.6	219.8	—	—

(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	461	△ 158	△ 146	△ 3,094	△32 円 25 銭
------------------------------	-----	-------	-------	---------	------------

4. 業績数値の差異等の理由

(1) 連結業績について

連結業績につきましては、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、営業利益につきましては、ダイカスト事業における売上高の減少による利益の低下（△119百万円）、食品流通事業における売上高の減少及び競合店への対抗のための利益率の低下（△47百万円）、酒類製造事業における売上の減少と売上構成比の変化による利益率の低下（△46百万円）、リフォーム事業における売上高の減少による利益の減少（△17百万円）により、前回予想より減益となりました。経常利益につきましては、営業利益への影響要因によるものであります。純利益につきましては、経常利益への影響要因及び特別損失によるものであります。

(2) 個別業績について

個別業績につきましては、営業利益及び経常利益が、前回の予想を上回り、純利益が前回の予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、営業利益につきましては、販管費が減少したことにより、前回予測より、増益となりました。経常利益につきましては、子会社への貸付金に対する貸倒引当金の戻入により、増益となりました。純利益につきましては、経常利益及び特別損失の影響要因によるものであります。

(参考) 平成 23 年 8 月 12 日「特別損失の計上及び業績予想の修正等に関するお知らせ」

平成 23 年 11 月 11 日「特別損失の計上及び業績予想の修正等に関するお知らせ」

平成 24 年 2 月 13 日「特別損失の計上及び業績予想の修正等に関するお知らせ」

以 上